

【質問】

すでにローレベルレビューケースまで記載できているテスト観点リストがあるのですが、その上でそれを使わずにあえてレビュー観点を導出するとよいシチュエーションや目的などがありますでしょうか？

本会議の講演時に、時間がかかりすぎてしまうなどのご意見をいただくが、そのあたりは蓄積して使ってもらえれば良いと思うというように話されていたので、すでに観点が蓄積出来ていると思えば、このレビュー観点導出は使う必要がないというようにも捉えてしまい、よく分からなくなっていました。お忙しいところ誠に恐れ入りますが、このあたりの考え方も教えていただけると幸いです。

【回答】

既にテストケースが蓄積されているので、各レビュー時にそれをそのまま使えばレビュー観点を導出する必要はないのかどうか、という質問として回答いたします。

既存のテストケースが存在するとのことですのでテストを例に考えてみましょう。毎回既に存在するテストケースだけあればテストは十分になりますでしょうか？ テスト対象の状態やテストを行う背景、案件の内容が異なっているはずですので、要件や現在の状態によってテストケースを新たに作成したり、既存のテストケースを一部見直し(カスタマイズ)する、あるいは必要のないテストケースを採用しないなど取捨選択してテストを実施することになると思います。

これらの対応を既存テストケースなしの状態ではゼロからすべて準備してテストを行うと毎回大変ですよ。

既存テストケースがあるからゼロから準備・作成する場合に比べて一部分を省力化できるわけですが、新しいケースの追加、既存ケースからの取捨選択、採用する既存ケースのカスタマイズなどいろいろと対応することが必要です。

レビューに置き換えても同じことが言えます。

既存のレビューケースをいくら取り揃えても、そのまま使えば終わるほどレビューも簡単ではありません。

(テストケースと同様に)新しいケースの追加、既存ケースからの取捨選択、採用する既存ケースのカスタマイズなどいろいろと対応することが必要です。

とはいえゼロから準備するよりは相当省力化が可能になります。

よってレビュー観点の導出やその詳細化の作業はなくならないと思います。

さらにちょっと注意が必要なのは、「既存のテストケースがある」とのことですが、テストケースをそのままレビューで使えるのかどうかは十分検討する必要がありそうです。テストで検出しやすい欠陥もありますし、レビューで検出しやすい欠陥もあります。テストケースが存在するので、何もない状態よりは良いと思いますが、それだけではレビュー観点として不十分になることが多い気がしますので、それぞれのレビューとして必要な観点をご検討ください。